

水素燃焼分野をリードする 工業炉・工業用バーナのトップブランド

中外炉工業株式会社

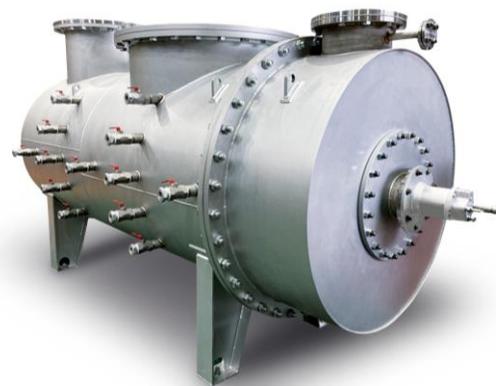


当社中核拠点・堺事業所

1945年に設立した中外炉工業株式会社は、「熱技術で新しい価値を創造する」を経営理念に、産業発展と環境保全の両立に貢献する事業を展開しています。自動車・機械部品や半導体・電池材料向けの熱処理炉、排液が少ない異形塗布装置、製鉄所向け大型工業炉、燃焼機器などを提供するほか、脱炭素社会に向けた水素燃焼技術やアンモニア利用技術の開発を進め、電化ソリューションにも注力しています。これらの取り組みを通じて気候変動をはじめとするさまざまな課題の解決に貢献し、人と地球が共生する豊かな未来の創造に取り組んでいます。

水素関連の取組・導入実績

当社は脱炭素技術の社会実装を積極的に推進しています。株式会社デンソー福島へ水素燃焼式アフターバーナ炉を納入し、この技術を含む取り組みが「トヨタ技術開発最優秀賞」を受賞（株式会社デンソーとの共同受賞）しました。また、UBE三菱セメント株式会社には世界初となる商業規模実証試験向けアンモニア専焼バーナを納入し、セメント産業における脱炭素化の新たな一歩を実現しました。開発面ではPFAS（有機フッ素化合物）熱分解技術に取り組み、株式会社鴻池組と共同で水素燃焼式過熱水蒸気技術を用いたプロセスを成功させ、2023年9月に公表しました。PFASは環境分野において課題となる難分解性物質であり、水素を活用したプロセスの検討・実証を通じて環境負荷低減に資する解決策を提示しています。当社は水素にこだわらず、アンモニア燃料を含む幅広い脱炭素技術の開発を推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



受賞したアフターバーナ炉

今後の展開・事業計画

2023年11月に新設した熱技術創造センターを含む堺事業所内の統合研究施設において、カーボンニュートラル実現への貢献を重要課題とする企業として脱炭素関連のテスト設備をさらに拡充し、水素社会構築など多方面への展開を目指しています。



拡充進む熱技術創造センター

企業プロフィール

所在地 大阪府大阪市中央区平野町3丁目6番1号
設立年月 1945年8月 資本金 61億7,672万円
代表者 代表取締役社長執行役員 尾崎彰 WEBページ <https://chugai.co.jp/>



担当部署

部署名 経営企画部
TEL 072-247-2530
E-mail web_master@n.chugai.co.jp